

生徒の相互交流で授業を活性化させてみませんか

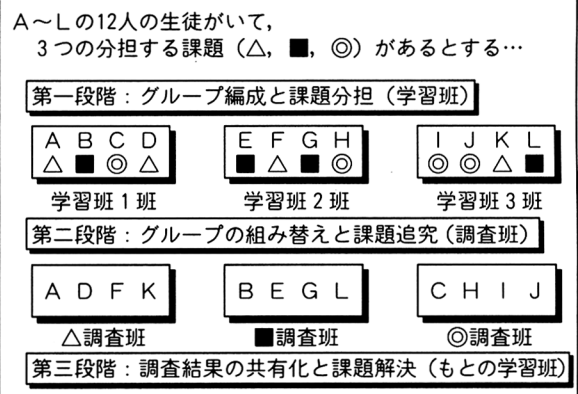
～クロス・セッションと多様な学習活動を組み合わせた授業実践～

熊坂 洋

1 はじめに

学習指導要領には、「学び方を学ぶ学習」や「多面的・多角的に考える学習」をより一層重視するよう示されています。グループによる調べ学習において、これらの学習を実現していくための一つの方策としてクロス・セッションがあります。

クロス・セッションとは、右の図のように、「学習班」（第一段階：課題の分担、第三段階：課題の解決）や「調査班」（第二段階：同じ課題の調査・追究）のように2種類のグループを編成し、それらを組み替えながら課題を解決していく活動で、学習過程を重視した手法です。



クロス・セッションとは、右の図のように、「学習班」（第一段階：課題の分担、第三段階：課題の解決）や「調査班」（第二段階：同じ課題の調査・追究）のように2種類のグループを編成し、それらを組み替えながら課題を解決していく活動で、学習過程を重視した手法です。〔『すぐに使える実践事例集』（福島県教育センター編：2001年）には、第1学年地理的分野「アメリカ合衆国」、第2学年歴史的分野「大正デモクラシーと文化の大衆化」を取り上げた二つの実践事例が詳しく記載されています。〕

今回は、第3学年公民的分野の地球環境問題を扱う単元で、単元構成・学習過程を工夫しながら、クロス・セッションと多様な学習活動を組み合わせた授業を実践しました。次の図は、授業構想と実践の手立てをまとめたものです。

授業構想と実践の手立て

単元名：第3学年 公民的分野「地球社会の危機を救うために」（総時数：12時間）

単元構成・学習過程

の工夫
単元前半では、地球環境問題についての認識を深め、単元後半では、地球環境問題を自分の問題としてとらえられるように単元を構成しました。また、それぞれの学習過程を二段階で展開するようにしました。

1 課題設定

2 追究・交流活動 地球環境問題の認識を深める

第一次追究：「調査班」での調べ学習
第一次交流：調査結果の相互交流
第二次追究：「調査班」での再度の調べ学習
第二次交流：調査結果の相互交流
〔ウーリー・ウェブ〕

3 制作・交流活動 地域環境問題を自分の問題としてとらえる

第一次制作：「新聞制作班」での個人新聞づくり
（B5サイズ）
第一次交流：「調査班」に戻っての相互評価活動
第二次制作：「新聞制作班」での個人新聞づくり
（B4サイズ）
第二次交流：全体交流会（相互評価活動と意見交流）

4 まとめ・発展

多様な学習活動の導入
毛糸でつながりを実感するウーリー・ウェブという手法や、個人新聞づくりと相互評価を繰り返す手法を用いました。

クロス・セッションの導入

地球環境を調べる「調査班」から、新聞づくりをする「新聞制作班」に班を組み替え、相互の関連を図りながら学習を進めました。

学習技能を高める手立ての工夫

学び方カードを用いて、各活動の初めにガイダンスを行い、活動のねらいや進め方の理解を図りました。また、自己評価・相互評価を適宜実施して、活動の振り返りができるようにしました。